

- 問1 邪馬台国の女王である卑弥呼が、当時の中国（魏）に使者を送り、金印や銅鏡を授かった政治的背景として最も適切なものはどれか。（2018年 福島県公立入試 類似）
1. 日本列島を統一するために、魏の軍隊を日本へ招き入れようとしたため

2. 中国の強力な王朝との結びつきを示すことで、国内における自らの権威を高めるため

3. 大陸の先進的な稲作技術を独占し、食料の生産力を飛躍的に向上させるため

4. 仏教を日本に導入するための経典や仏像を、魏の皇帝に要求するため
- 問2 弥生時代に大陸から日本列島へ伝わった金属器の特色について、銅鐸の性質をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 青銅器は、鉄器よりも硬く鋭いため、主に開墾用の農具や実戦用の武器として普及した

2. 銅鐸に代表される青銅器は、古墳時代になってから初めて製作され、巨大な墓に副葬された

3. 銅鐸は文字を記録するための道具として開発され、当時の律令制度を庶民に伝えるために使われた

4. 青銅器は、鉄器に比べて祭礼や儀式に用いられる傾向が強く、銅鐸もその一種であった
- 問3 福岡県などの遺跡から出土した、中央につまみがあり周囲に精密な文様が施された円形の銅鏡について、この道具が当時の社会で果たしていた役割として正しく述べているものはどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. 文字を刻んで記録を残すための記録媒体として、役所などで管理されていた

2. 非常に硬い性質を持っていたため、山林を切り拓くための斧として全国で普及した

3. 光を反射させる性質を利用し、強力な権威を持つ者が自らの地位を象徴する宝物とした

4. 身分を問わず、弥生時代の全ての人々が護身用の盾として日常的に持ち歩いた
- 問4 古代日本の生活文化について述べた次の文のうち、衣料に関する記述として正しいものを選びなさい。（2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 当時の技術では植物繊維を利用することができず、衣服のすべてが動物の皮で作られていた。

2. 古代の日本列島では乾燥した気候を活かした羊の飼育が盛んで、羊毛が主な原料だった。

3. 弥生時代には稲作とともに綿の栽培も伝わり、民衆の服の多くは綿製であった。

4. 古墳時代の有力者は、麻のほかにも絹を用いた衣服を身につけることもあった。
- 問5 弥生時代に現れた環濠集落は、それ以前の縄文時代の集落とは大きく異なる社会背景を持っています。このような形態の集落が全国的に出現した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 愛知県公立入試 類似）
1. 渡来人から伝わった仏教の寺院を建立するにあたり、聖域と世俗の居住区を明確に区別するため

2. 大陸との交易で得た貴重な青銅器や鉄器を、雨風や火災から物理的に保護する必要が生じたため

3. 稲作による生産力の向上で蓄えが生まれた結果、土地や水をめぐる集団間の争いが激化したため

4. 大規模な洪水被害から住居を守るために、集落の周囲に巨大な排水路を設ける必要があったため
- 問6 弥生時代の遺跡からは、青銅器と鉄器という二種類の金属器が発見されています。鉄器が農具の刃先として普及したことが、当時の社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 大阪府公立入試 類似）
1. 石器に比べて加工が簡単だったため、各家庭で容易に自給できるようになった。

2. 青銅器よりも希少価値が高かったため、王の権威を示すための宝物としてのみ扱われた。

3. 土地の開墾や耕作が容易になり、食料である米の生産力が向上した。

4. 農具が重くなったことで、小規模な家族単位での農業が不可能になった。
- 問7 弥生時代に大陸から稲作とともに伝わった青銅器のうち、表面に幾何学模様や当時の生活・自然の様子が描かれ、釣鐘のような独特の形状をしている道具の主な用途として最も適切なものを選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）
1. 食料を保存し煮炊きをするための道具

2. 豊作などを祈るための祭りの道具

3. 土を耕し田植えをするための農業用の道具

4. 獲物を捕らえたり身を守ったりするための狩りの道具
- 問8 弥生時代に大陸から伝えられた金属器のうち、銅鐸や銅剣などの青銅器は、主にどのような目的で使用されていたと考えられますか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
1. 都の東西に置かれた市で、布や米と交換される通貨として用いられた

2. 食物を煮炊きしたり、貯蔵したりするための生活容器として用いられた

3. 集団の祭祀や祭りの道具として用いられた

4. 土地を耕したり木を加工したりする実用的な工具として用いられた
- 問9 弥生時代における「ムラ同士の争い」は、その後の日本の社会構造にどのような変化をもたらしましたか。当時の社会の流れとして最も適切な説明を選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 争いを通じて周辺のムラが統合され、クニと呼ばれる強力な政治的まとまりが形成された

2. すべての人が平等に食料を分配する仕組みが作られ、身分の差が完全になくなった

3. 争いを鎮めるために、各集落が完全に独立したまま交流を断つ鎖国のような状態になった

4. 争いを避けるために人々が再び移動生活に戻り、定住する集落が一時的に消滅した
- 問10 弥生時代の3世紀、邪馬台国の卑弥呼が中国の「魏」に対して使いを送った目的と、その結果として当時の国際情勢から読み取れる背景として最も適切なものはどれか。（2017年 東京都公立入試 類似）
1. 日宋貿易を円滑に進めるために、大輪田泊のような港湾施設を整備して中国との経済的な結びつきを重視した。

2. 全国的な徴税制度である大宝律令を確立させるために、中国から法制度の専門家を招いて政治改革を推進した。

3. 中国の皇帝から倭の王としての正当性を認められることで、国内の諸勢力に対する支配力を強化しようとした。

4. 隋の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して「日出づる処の天子」という国書を届けさせた。
- 問11 当時の日本（倭）では多くの小国が分立して争いが続いていたことが中国の歴史書に記されています。このような状況下で、邪馬台国の卑弥呼が魏に使節を送り、皇帝との外交関係を築いた主な目的は何ですか。（2019年 広島県公立入試 類似）
1. 魏の進んだ鉄器製造技術を独占することで軍勢力を高め、武力によって一気に日本列島を統一するため

2. 魏の皇帝から倭王としての国際的な承認を得ることで、国内の他勢力に対して優位に立ち、支配を安定させるため

3. 魏が定めていた律令などの法律や官僚制度を取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の仕組みを整えるため

4. 大陸で広く信仰されていた仏教を日本に導入することで、宗教の力によって国内の戦乱を鎮めるため
- 問12 3世紀から17世紀までの日本の政治の展開や社会の様子を、AからDの4つの期間に分けて整理した年表があります。このうち、最も古い時期である「A」の期間として示されている「3世紀」とは、西暦で表すとどの範囲を指しますか。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 西暦101年から200年まで

2. 西暦301年から400年まで

3. 西暦201年から300年まで

4. 西暦200年から299年まで